

(様式2)

群馬県環境GS (Gunma Standard)
令和7年度実績報告・令和8年度継続申請書

申請書記入者： 妙義 三郎

日付： 2026/4/1

提出締切：令和8年6月30日まで

※県ホームページにてGS認定番号、事業者名、市町村、業種、電話番号を公表します。

事業者	名称 (ふりがな)	(かぶしきがいしゃ あかぎせいさくしよ) 株式会社 赤城製作所		
	代表者職名・氏名 (ふりがな)	(だいひょうとりしまりやく あかぎ たろう) 代表取締役 赤城 太郎		
	所在地	〒 371-8570 ↓市町村名を選択 ↓市町村名より後の住所を記載 前橋市 大手町1-1-1 (電話: 027-000-0000 FAX: 027-000-0000) (メールアドレス: gs@pref.gunma.lg.jp)		
	GS認定番号	180000	従業員数	12 人
	他環境マネジメントシステム等の認証取得状況	ISO14001 (環境) 認証取得事業者 その他 (自治体、金融機関等のSDGs関連の認証等)		

必ず「○」または「□」をつけてください

次の内容を確認の上、□に○を記入してください。(必須)

自己又は自己の団体の役員等は、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成30年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団、暴力団員(同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。)又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者には該当しません。

エコアクション21認証登録事業者、2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」実現条例による排出削減計画書・状況報告書提出対象事業者についても、以下の欄をご記入ください。

1 実績と新たな目標

指 標 (単位、原単位の場合は算定式)	電気使用量 (kWh)	ガソリン使用量 (l)	()
① 令和6年度実績値	41,700	8,230	
② 令和7年度実績値	41,200	8,010	
③ 短期目標 (令和7年度当初設定した値)	41,280	8,140	
短期目標達成状況	達成	未達成	
実績-短期目標 (②-③)	△ 80	△ 130	0
新たな短期目標 令和8年度(今年度)	40,788	7,930	
長期目標 令和 12 年度	39,900	7,500	
削減総量 (※)	500	220	0

(※) 指標を数量で記載している場合は、①-②。指標に原単位を用いている場合は、総量に換算後の数値を記入してください。

(様式2)

2 取組実績・評価 (効果が大きい上位5項目を簡潔に記載。)

①～⑤(赤枠内)の内容は、事業者名等とあわせて県ホームページに公表します。
そのため、公表しても差し支えない範囲での記載をお願いいたします。

- ① エコドライブ教育の実施と車両別燃費管理。
- ② 高効率照明(LED)への更新。
- ③ 空調管理の適正化(サーキュレーター導入、加湿器・除湿器の併用)。
- ④ コンプレッサのインバーター化・台数制御の導入。
- ⑤ ゴミの分別収集

食品ロス削減について、取り組んだ内容の口にし(もしくは■)を記入してください。

〈全事業者〉

■ 従業員に対し、生ごみの減量と食品ロスの削減を呼びかけた。

□ その他[]

〈食品関連事業者(食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業、旅館業等)〉

□ 過剰在庫や食品ロスの削減に取り組んだ。

□ 小盛り等の設定、閉店間際の値引き販売や食べ残しの持ち帰りなど、食べ残しや売れ残りを減らす取組を実践した。

□ 商慣習の見直し(いわゆる3分の1ルール緩和、賞味期限の年月表示化等)を行った。

□ フードバンク等へ食品提供をした。

□ その他[]

フロン類の排出抑制について、取り組んだ内容の口にし(もしくは■)を記入してください。

〈全事業者〉

■ 【必須】フロン類の漏えい防止のため、エアコン・冷蔵冷凍機器等の異常がないことを確認した。

□ フロン類を使用しない(ノンフロン)、又は低GWP(地球温暖化係数)の冷媒を使用したエアコン・冷蔵冷凍機器を導入している。

〔総合評価を簡潔に記載〕

環境GSマネージャーを中心に、温室効果ガス排出削減に向けた社内の取組体制が整備され、生産工程における「無駄取り」は徹底されてきた。この取組の中で各工程でのエネルギー消費量が明確となったため、環境GS省エネ診断員派遣等を活用しつつ、生産工程の見直しや省エネ設備への更新の検討など、さらなるレベルアップを目指したい。

3 今年度の取組内容 (別紙記載可)

1. 省エネルギー(再エネルギー含む)	・空調管理において、湿度のコントロールを適切に実施し、執務環境の快適性維持と省エネを両立する。
2. 廃棄物減量化	・梱包緩衝材のリサイクルの徹底。 ・ごみの分別収集を推進する。
3. その他	・年に2回社内環境研修を実施する。

食品ロス削減について、取り組む内容の口にし(もしくは■)を記入してください。

〈全事業者〉

■ 従業員に対し、生ごみの減量と食品ロスの削減を呼びかける

□ その他[]

〈食品関連事業者(食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業、旅館業等)〉

□ 過剰在庫や食品ロスの削減に取り組む

□ 小盛り等の設定、閉店間際の値引き販売や食べ残しの持ち帰りなど、食べ残しや売れ残りを減らす取組を実践する

□ 商慣習の見直し(いわゆる3分の1ルール緩和、賞味期限の年月表示化等)を行う

□ フードバンク等へ食品提供をする

□ その他[]

フロン類の排出抑制について、取り組む内容の口にし(もしくは■)を記入してください。

〈全事業者〉

■ 【必須】フロン類の漏えい防止のため、エアコン・冷蔵冷凍機器等の異常がないことを確認する。

□ フロン類を使用しない(ノンフロン)、又は低GWP(地球温暖化係数)の冷媒を使用したエアコン・冷蔵冷凍機器を導入する。

※今年度省エネ診断員派遣を希望する場合には、左記口にし(もしくは○)を記入してください。

(別紙)

※下記事項に変更がある場合のみ提出してください(変更がない項目は記載不要です)。

事業内容	※許可が必要な場合は(許可番号:)	
参考情報	資本金	千円
	延べ床面積	m ²
環境GSマネージャー	職	総務部
	氏名	妙義三郎
環境GSサブマネージャー	職	
	氏名	
環境GSサブマネージャー	職	
	氏名	
環境基本方針 (地球温暖化防止等、環境に配慮した事業活動の推進に関する基本的な考え方)		
<div style="border: 1px solid black; height: 80px;"></div>		

通信欄 (ご意見・ご要望等ありましたらご記入ください)
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>